

※ 増波対応DEも共通です。

スマートフォンアプリでの設定

【ダウンロード】

ANDROID 端末は PLAY ストア、IPHONE 端末は APP STORE で無償アプリの XEAL30D を検索してインストールします。1.8MB 程度の軽いアプリです。

【アプリの操作】

アイコンをタップすると「XEAL30D 設定」画面が開きます。

・デジタル簡易無線1からラジオ設定までは、登録できるチャンネルごとの設定です。手動で設定できる内容を入力だけです。ユーザーコードや秘話、個別通信など無線機の機能の意味や設定はデジタル簡易、特定小電力、アマチュアの各無線機の取り扱い説明書を参照してください。無線機に行った設定と同じになるよう、アプリの項目を設定します。

・共通設定の項目は下記をご参照ください。コンパンダ、VOX、ガイドンス最小音量など拡張各種設定モードや本機の取扱説明書で説明した内容は省略しています。

BS: バッテリーセーブモードです。AC アダプター使用時は自動的に OFF になります。電池を使うときは ON にすると持ちが良くなりますが、通話の頭が途切れることがあります。

減電池しきい値: 減電池をガイドするしきい値です。数字が大きいほど、電池残量に余裕があるうちから減電池警告をガイドします。

設定ロック: デジタル簡易無線、特定小電力、アマチュアそれぞれの ACSH ができなくなります(周波数書き込み消去ができない)。

ラジオはシークと書き込み、消去ができなくなります。

各種設定、拡張各種設定全部の項目が変更できなくなります。

【操作方法】

アプリの設定が終わったら操作します。

1. 本機の「△」、「▽」、「選局」ボタンを押しながら電源を入れるとスマートフォンアプリモードになり、音声ガイドが流れます。
2. ガイドの音声の流れが終わったら、スマートフォンのスピーカー部(音が大きく出る方向)を本機のマイク部の前に近づけます。マイクとスマートフォンの間隔は1～3cmが目安です。スマートフォンがマナーモードになっていないことを確認して、音量を高めにします。
3. スマートフォンアプリの「データ送信ボタン」を押すと、ピロピロ音でデータを転送します。データ転送中は①～⑤のランプが全てオレンジ点滅になります。終了すると「スマートフォンからの設定が完了しました。」とガイドンスでお知らせします。
4. 電源を入れ直すと通常モードに戻ります。
5. エラー時は「データ転送に失敗しました。」とお知らせして本機の①～⑤のランプが赤点滅します。エラーになった時は、再度スマートフォンアプリの送信ボタンを押してください。
6. データ送信ホーム画面で一度に全てのデータを送ることができますが、その分時間もかかります。各項目のみ設定したい場合は各項目の右上にある「データ送信ボタン」を押してください。

【設定ができない場合】

- 周りが静かな場所で行ってください。
- データ転送中は本機とスマートフォンを極力動かさないでください。
- スマートフォンの音量を変えてみてください。(小さい場合は大きく、大きすぎる場合は少し下げてもいい。)
- スマートフォンのスピーカーの周波数特性によってはうまくデータ転送ができない場合があります。その時は別売 UX1642 ケーブルを使用し、4 極側を本機のイヤホン端子に 3 極側をスマートフォンのスピーカー端子に差し込み、「データ送信ボタン」を押してください。音声伝搬せず直接電気信号でデータ転送を行いますので、確実にデータ転送を行うことができます。

緊急警報放送設定説明

The screenshot shows the 'XEAL30Dの設定' (XEAL30D Settings) screen, Version 2.0. The 'ラジオ設定' (Radio Settings) tab is selected. Below it, there are four radio buttons labeled CH02, CH03, CH04, and CH05, each with a frequency of 522 KHz. A red rounded rectangle highlights the 'FM 緊急警報放送設定' (FM Emergency Alert Broadcast Settings) section. This section includes a toggle switch for 'ON', a frequency field set to '76.0MHz', a volume field set to '60', a type field set to '第一種と第二種' (First and Second Type), and a test broadcast field set to '受信しない' (Do not receive).

ラジオ設定	データ送信
CH02	522 KHz
CH03	522 KHz
CH04	522 KHz
CH05	522 KHz

FM 緊急警報放送設定:

ON ☐

周波数: 76.0MHz

音量: 60

種別: 第一種と第二種

試験放送: 受信しない

周波数:お住まいの地域の NHK-FM 放送の周波数を選び ON に✓を入れます。

音量:緊急警報放送を受信した時の音量です。出来るだけ大きくする方が良いでしょう。DIAL は音量ボリュームに連動します。

種別:緊急警報放送は、第 1 種と第 2 種とに区別して行われ、東海大地震の警戒宣言などの大規模地震の警戒警報及び災害対策基本法に基付き、地方公共団体の長(都道府県知事並びに市区町村長)が発する災害に関する警報(避難命令など)の場合には第 1 種開始信号、津波警報は第 2 種開始信号を使用して行われます。第 1 種信号、第 2 種信号ともに約 10 秒間送出されます。第 1 種信号は強制的に動作しますが、第 2 種信号は津波警報にだけ使用され、受信側で動作させない設定が可能です(海岸又は河口からはるかに離れている地域、内陸の地域の便宜のため)。

試験放送:緊急警報放送の受信機の動作などを確認するため、試験放送を月 1 回程度放送しています。NHK は、毎月 1 日(1 月のみ 4 日)正午前の 11:59 - 12:00 に、総合テレビ、ラジオ第 1、FM 放送でいずれも総合テレビのワンセグも含めて試験信号放送を送出しています。

警報 OFF 時間:緊急警報放送が終了する前に終了コマンドが送られてきます。この終了コマンドを受信できれば警報の受信を終了しますが、受信できなければ設定した時間(1 分～5 分)で警報の受信を終了させることができます。

注意:緊急警報放送は AC アダプターで動作時、本機の電源を切っていても常に待ち受け受信しています。しかしながら、FM、AM ラジオ受信時は待ち受け受信できません。